

P  
【単元の目標】

- ・お互いのことを知るために、学習した表現を使って外国語でやりとりをすることができる。

D  
【単元の目標の達成に向けた手立て】

	手立て	資料
①	Unit1～Uni3で扱う表現を、児童が十分に習得することができるよう、日常の授業の工夫を行う。	A
②	目的・場面・状況を明確にして、児童と共有する。（必要感をもたせる手立て）	✕
③	評価基準表（ルーブリック）を作成し、児童と共有する。また、実際に見本を見せる。	B

C  
【単元の目標の達成状況】

- 知識・技能・・・A評価(14名)B評価(36名)C評価(4名)
- 思考・判断・表現・・・A評価(6名)B評価(44名)C評価(4名)
- 主体的に学習に取り組む態度・・・A評価(6名)B評価(44名)C評価(4名)

A  
【改善の方向性】

- ・知識・技能達成状況に対して、思考・判断・表現における、A評価の割合が低い。
  - ・改善点...ALTとの会話が、1問1問で終わる児童が多かった。
- ①言語活動を行う際、「会話」を意識させるようにする。  
(感想を言う、質問をするなど)  
⇒知識・技能に加えて思考・判断・表現を更に育ていけるような授業改善。
  - ②児童の実態に合ったルーブリックの作成。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

①Unit1～Uni3で扱う表現を、児童が十分に習得することができるよう、日常の授業の工夫を行う。

### 〔児童（生徒）の活動〕

- ①歌・チャンツ・スモールトークを繰り返す。  
（聞く）（単元に必要な言語材料を習得する1歩）
- ②1人1台端末やイヤホンを活用し、単元に必要な言語材料を繰り返し発音する。（話す・読む）
- ③単元の中盤以降、場面・目的・状況を明確にした言語活動を行いながら、単元に必要な表現を身に付ける。（話す）
- ④単元の最後で、自分事として発表できる場を設定する。  
（自分の宝物写真、紹介したい国など）（話す）

### 〔教師の指導〕

- 単元を大きく分けて、言語習得に必要なステップを確実に踏ませる。
  - ①聞く
  - ②話す・読む
  - ③書く

### 〔工夫点〕

- ・言語表現を自然に身に付けることができるようにする。
- ・言語活動を意識して指導を行うことで、児童の学びを深める。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②目的・場面・状況を明確にして、児童と共有する。（必要感をもたせる仕掛け）

### 〔児童（生徒）の活動〕

- ①ALTのことで知っていることを発表する。
- ②既習の表現で、どんなことが質問できそうか考える。
- ③ペアやグループで②について交流する。

### 〔教師の指導〕

- ①ALTのことをどれだけ知っているのか問う。
- ②「ALTのことをよく知っているつもりで、意外と知らない」というズレを児童に認識させる。
- ③「ALTのことをもっと知るために」という、言語活動の「目的」につなげる。

### 〔工夫点〕

- ・ 認識と実際のズレを児童に認識させる発問をすることで、活動への必要感をもたせる。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③評価基準（ルーブリック）を作成し、児童と共有する。また、実際に見本を見せる。

### 〔児童（生徒）の活動〕

- ①ルーブリックを見る。
- ②単元の目標（ALTのことをもっと知るために）とルーブリックを照らし合わせ、自分の発表は現時点でどの評価か考える。また、どう改善すると1ランク上の評価になるか考えさせる。

### 〔教師の指導〕

- ①ルーブリックを提示し、評価の観点・違いを確認する。
- ②ABC評価（3観点）の大まかな違いを、実際の見本を見せることで理解させる。

### 〔工夫点〕

- ・実際に見本を見せることで、本番に対するイメージや評価の観点を明確にすることができる。
- ・ルーブリックを提示して児童と共有することで、児童が意欲的になったり目標をもって取り組んだりすることができる。

# 主な言語材料

挨拶 : Hello / Good morning/ How are you? /Thank you

自己紹介系 : I'm~/My name is ~/How do you spell your name?

I like ~. / Do you like~ ? / What ○○ do you like?

My birthday is ~ / When is your birthday ?

What do you usually do on ○○~ ? / I usually △△ on ○○.

What is your treasure? / My treasure is~

Where do you want to go? / I want to go to ○○.

# 授業の工夫（1人1台端末の活用）

私の宝物    押しグッズ

宝物の  
写真

プロセカ（音ゲー）

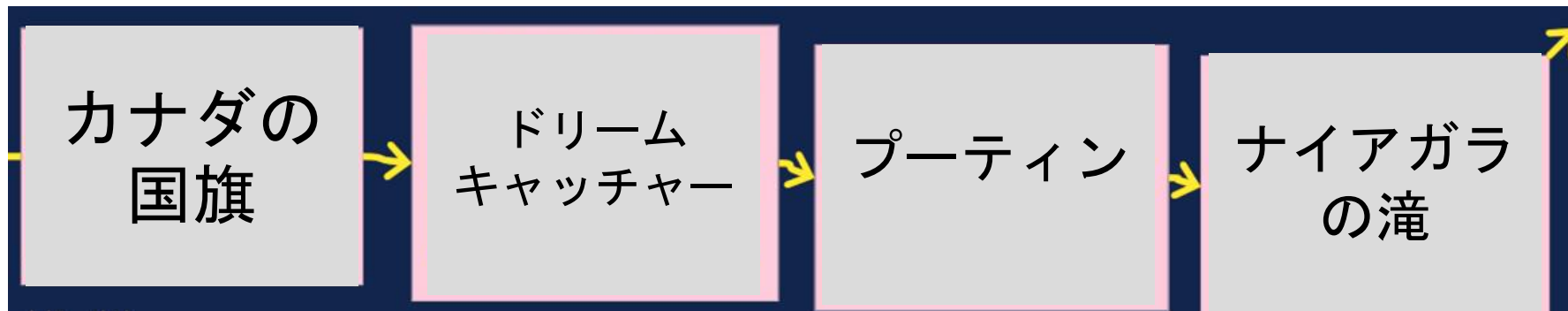
宝物の  
写真

ペット

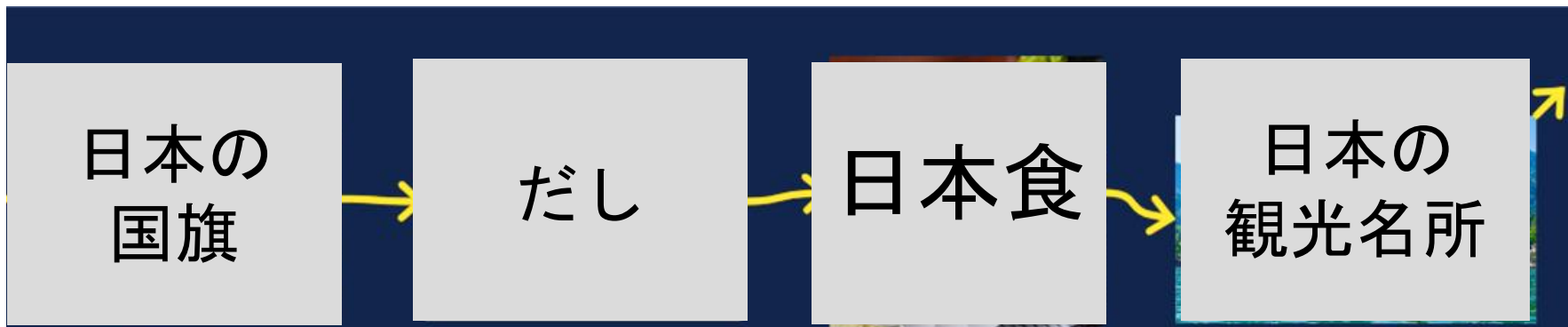
宝物の  
写真

ゲーム

# 授業の工夫（1台端末の活用）



⇒カナダが好き！知りたい！



⇒ALTに日本の良いところを紹介したい！

# 資料B (ルーブリック)

⑤【評価基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	自己紹介や日課、宝物について正しい表現を使って、言いよどむことなく考えや気持ちを伝えあっている。	自分のことを知ってもらったり、相手のことをよく知ったりという目的に応じて、相手によくわかるように情報を加えたり、主体的に質問したり、感想を言ったりして考えや気持ちを伝えあっている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするという目的に応じて、相手によくわかるように情報を加えたり、主体的に相手に質問したり答えたり感想を言ったりして、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
B	自己紹介や日課、宝物について一部に間違いや言いよどみが見られるものの、考えや気持ちを伝えあっている。	自分のことを知ってもらったり、相手のことをよく知ったりという目的に応じて、考えや気持ちを伝えあっている。	自分のことを知ってもらったり、相手のことをよく知ったりという目的に応じて、考えや気持ちを伝えあおうとしている。
C	上記に満たない場合	上記に満たない場合	上記に満たない場合